

## 都市ガス一般ガス料金と原料価格等のお知らせ

新日本ガス供給エリア

## 1. 一般ガス料金表

	1ヶ月ご使用量	基本料金 (税込)	調整単位料金 (税込)	
			2020年9月 適用	2020年10月 適用
料金表A	0m <sup>3</sup> から19m <sup>3</sup> まで	700.70	177.92	174.33
料金表B	20m <sup>3</sup> をこえ77m <sup>3</sup> まで	1,232.00	150.18	146.59
料金表C	78m <sup>3</sup> をこえ194m <sup>3</sup> まで	1,859.00	142.09	138.50
料金表D	195m <sup>3</sup> をこえ454m <sup>3</sup> まで	3,476.00	133.78	130.19
料金表E	455m <sup>3</sup> をこえるもの	5,628.70	129.05	125.46

※調整単位料金 (税込) は原料費調整後 (税込) の単価となります。

2020年10検針分の原料費調整制度における諸数値は以下のとおりとなります。

## 2. 原料価格の変動 (2020年10月分)

## ①平均原料価格

2020年5月から2020年7月までの平均原料価格 トン当たり46,720 円

## ②原料価格変動額

平均原料価格 - 基準平均原料価格 = 原料価格変動額 (100円未満の端数を切捨て)

46,720円 - 55,080円 = **-8,360 円** → **-8,300 円**

## ③原料費調整単価

原料価格変動額 × 調整単価 (0.076円) ÷ 100円 × (1 + 消費税率) = 原料費調整単価  
(小数点第3位以下切捨て)

1m<sup>3</sup> 当たり **▲6.93 円 (税込)**

## 【参考】原料費調整制度の概要

- 原油価格の動きや為替レートによる原料費の変動に応じて、毎月の従量料金単価を調整する制度です。  
原料費の変動を適切に毎月的气体料金に反映させることにより、料金の透明性を高めます。
- 貿易統計にもとづく3ヶ月の平均原料価格と基準となる原料価格を比較し、変動分についてあらかじめ定められた算定方法によりガス料金を調整します。

## 3. 標準家庭における比較増減額 (2020年10月分)

2020年9月分の料金と比較して、54円お支払い額が減額となります。

	2020年9月	2020年10月	増減
ガス料金 (税込)	3,369円/月	3,315円/月	▲54円/月

※標準家庭ガス料金は、2019年10月度の家庭用平均使用量15m<sup>3</sup>にて算定しております。